

総務費

函館市を除く渡島・檜山管内1市16町で構成し市町税の滞納整理を引き受ける「渡島・檜山地方税滞納整理機構事務局」に、本町から平成24年度より1名の職員が2ヶ年に渡り派遣することといたしました。

檜山管内として5番目の派遣となります。

次に、北海道は、災害時の通信手段として行政無線システムの北海道総合行政情報ネットワークを全道に構築しております。

これら施設の更新のための市町村における負担金を措置しております。

また、コミュニティ助成事業として集会用パイプ椅子の整備を図るものであります。

その他、生活に欠かすことのできないプロパンガスの本土との価格軽減のための安定事業の補助や、住民の航空機利用の運賃助成を図るための離島航空路線確保対策の負担金、更にはフェリーの乗船料

の助成、奥尻高等学校の特色ある授業でありますスクーパの資格取得等の事業につきましても引き続き支援してまいります。



交通安全対策につきましては、本年6月中旬をもって「交通事故死ゼロ4千日」に達します。

今後においても町民一人一人の更なる交通安全意識を高めるため、重点項目であるシートベルトやチャイルドシートの着用や高齢者に対する安全

確認、スピードダウンや飲酒運転の根絶を図るために広報紙や行政無線での呼びかけを行い交通事故防止に努めてまいります。

防災対策につきましては、初松前自治振興会館の避難路の整備を行うものであり、各河川の水門施設においても点検整備を行い災害に対する備えを行うものであります。

また、平成24年度で任期満了となります檜山海区漁業調整委員選挙と町長選挙に係る予算について計上したものであります。

民生費

本町の社会福祉の向上を図るため各種福祉事業を行い、特に指定介護事業所として介護支援や障がい者自立支援のサービスなどを行っております。社会福祉協議会の運営補助を引き続き行ってまいります。

低所得者の高齢者世帯などに対して灯油の購入費の一部

を助成して冬季間の生活支援も行ってまいります。

「特別養護老人ホームおくしり荘」の給水・給湯施設が、経年のため配管の腐食等から全面改良を要することとなり社会福祉法人奥尻福祉会に対して、施設整備のための事業補助金を予算計上したものであります。



多年にわたり町の発展に寄与して、満90歳と満100歳になられた方々に対して感謝の意を表すために長寿祝い金の贈呈や敬老の集い事業などを引き続き実施して参ります。

高齢化が一段と進展する中で、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、「地域包括支援センター」を中心として高齢者実態把握事業を実施しながら、地域支援合い事業の訪問サービス、

除雪サービス、緊急通信システム受信センター業務や介護安定供給促進事業の訪問介護、デイサービス事業、通所介護、高齢者生活福祉センター運営のための補助や老人クラブの活動への助成、身体障がい児対策として、心身に障がいを持つ児童の療育サービスを受けるための体制を確保して発達支援強化を図ってまいります。



また、ひとり親家庭や乳幼児等の医療費につきましても引き続き助成するなど、多様なニーズに応えるよう努めて参ります。

施政方針

衛生費

町民の健康増進を図るため、社会全体で支え合う保障制度であります。「介護保険」や「国民健康保険」、「後期高齢者医療」につきましては引き続き適正な運営に努めるとともに、該当年齢の国保の被保険者に対して特定健康診査を実施し、健康の保持、疾病の早期発見、早期治療へと繋げてまいります。

保健・医療の分野では、各種がん検診やウイルス感染の主な原因とされております子宮頸がんの予防ワクチン接種の継続と、乳幼児の細菌性髄膜炎を防ぐためのヒブワクチン、更には、小児用肺炎球菌のワクチン接種などの感染症予防に係る費用を助成し、経済的な負担を軽減することで疾病予防に寄与してまいります。



また、健診後には結果説明会や保健指導を通じて住民の健康づくりに対する意識の高揚を図っていききたいと考えております。

少子化が急速に進展している中、母子共に健康で安全な出産ができるように妊婦健診の委託料や町外での健診に要する旅費に対する補助も行ってまいります。

葬斎場の管理においては、経年のため火葬炉の電気設備の一部改良工事を計画しております。

一方、ゴミ処理にかかる経費は大きな財政負担となっておりますが、引き続き資源ゴミ回収に努め、ゴミの減量化の取り組みを進めてまいります。

し尿処理費においては、施設が老朽化しているため補修しながら施設の維持管理に努めていきたいと考えております。

また、国保病院事業会計への繰出し金についても予算措置をしております。

労働費

国の緊急雇用創出事業により、島の魅力拡大事業を行い、地元物産のネット販売や体験観光、防災教育旅行などの推進に取り組んでまいります。

農林水産業

農業関係においては、戸別所得補償制度の推進を図るための事務費補助と米岡地区の



めの予算を措置しております。林業関係においては、本年度も森林整備加速化・林業再生事業などで町有林や民有林の間伐事業や森林環境保全事業により民有林の造林事業を支援してまいります。

その他、森林資源の有効活用の調査や木材の島外搬出補助を行い林業振興の推進を図ってまいります。

育苗川支流や奥尻地区に小規模治山施設の整備を実施するものであります。

水産関係では、第3種育苗漁港での水産物の安定的な供給を図るため、岸壁などの整備による衛生管理対策の推進や静穏度の向上を図るため防波堤の整備による安全対策を図るなど、新たな10カ年計画であります。「特定漁港漁場整備事業」が、平成24年度水産基盤整備事業の直轄新規事業着手地区として国に認められました。

これにより、今後において岸壁の改良や南防波堤の改良により一層の漁港環境の向上が図られるものと思っております。



ます。

漁獲高の向上を図るためナマコやアワビ種苗の放流を引き続き行い資源の回復を目指すとともに、追跡調査を実施して生産力の向上と根付け漁業の安定を目指すものであります。

なお、本年度のアワビ種苗の放流数は10万個を予定しております。

ひやまのニシン復興に向けた取り組みとして、本町海域において稚魚の放流を実施しニシンの回帰に取り組みで参りたいと考えております。

前年度に引き続き離島における水産業の多面的機能の維持増進を図るため、離島漁業再生支援交付金を活用してのウニの深淺移植放流事業にも支援してまいります。

更には、港湾整備事業と並行して港湾施設内に新たに平成25年度から建設整備を予定している製氷・貯氷・冷蔵施設の「漁獲物鮮度保持施設」の実設計委託料の予算を措置しております。

施設の規模は鉄骨造り3階建てで床面積900㎡を予定しております。

何れにいたしましても、主要産業であります農林水産全般に亘り収益性の向上を図るため支援して参りたいと考えております。

商工費

町の活性化には商工観光業の振興が重要な問題であります。

町内商工業の中心となる商工会に対して、運営補助を行い地域商工業の振興を支援してまいります。

観光振興につきましては、観光資源を活用した振興を図り、観光事業の核となる観光協会への補助、更には、定期観光バスの運行や歓迎キャンペーン事業、奥尻三大祭り協賛行事の継続のための予算を計上しております。



また、町単独予算で乗用車の江差・せたな2航路の運賃助成を行うための奥尻航路活性化事業を実施し、更には、島のPR広告を実施して広域観光を視野に入れた体験ツアーなど観光客誘致対策や事業支援など、観光産業の振興に向けて努力していく考えであります。

その他、公園管理につきましては、快適に利用できるよ

う公園の清掃など維持管理を行うてまいります。

土木費

住民生活に密接に関わる生活基盤の整備費用として、道路維持、除雪対策、河川管理などに係る予算を措置しております。

港湾施設整備費においては、奥尻港湾の長期計画に基づき国が行う直轄事業で船揚場や物揚場の整備と施設用地及び北外防波堤の一部を整備するものであります。

港湾海岸事業においては、高潮対策として離岸堤の整備を実施するものであります。

空港費につきましては、北海道から受託しております奥尻空港管理業務と株式会社北海道エアシステムからの運航業務受託に係る予算を措置しております。

消防費

住民の生命と財産を守るため火災予防に努め、火災及び災害発生時や救急要請時に、迅速に対応できる体制を維持

してまいります。
4月に採用する1名の署員を消防学校において訓練させ退職職員の補充体制に努めて参ります。



消防救急無線は電波法の公示により平成28年5月までにデジタル方式に移行する必要がありますことから、檜山広域行政組合としてデジタル無線施設整備のための基本設計を実施するため、その負担金を措置したものであります。

消防活動に必要な空気呼吸用ボンベ、ガス感知器、ロープレスキュー器具などの整備も図るものであります。

消防活動は、常時消防だけでは対応できないため、消防

教育費

団との連携が重要であります。本町においても団員が減少しつつある中で一層のご尽力とご協力をお願いしたいと考えております。

次代を担う子供たちが、夢と希望を持ち心豊かにたくましく成長していくことは、子ども町民の切なる願いであります。

引き続き高校、短大等や、大学生への奨学資金貸付金、



施政方針

小中学校の施設の維持管理のための経費、修学旅行の援助費、また、各種大会等の参加に対する補助やその他各小中学校、幼稚園など運営のための予算を措置しております。

平成26年度に、統廃合を予定しております宮津小学校校舎の増築の設計委託料や耐震度が低いため25年度に建替え工事予定の育苗小学校の屋内運動場に係る設計委託料などの学校建設費を措置したものであります。

津波館管理においては、塩害などの影響から腐食しております入り口の屋根の改修や高圧電気引き込み開閉器の工



事を予定しており、その他、海洋研修センター、資料館、町民センターなど施設管理に要する経費を措置しております。

昨年、檜山管内中学校の野球大会において優勝した奥尻・青苗の中学生合同チームが、今年白老町で開催されます「全道大会」に出場のため、これらの参加費を予算措置しております。



今後とも教育委員会との協議の下に、児童生徒をはじめ町民が心豊かに学習できる環境を保つため努力してまいります。

公債費

借入しています町債の償還のための元金及び利子を予算措置し、「諸支出金」においては、各特別会計に対する繰出し金を措置したものであります。

特別会計

水道事業会計において、奥尻地区の簡易水道の給水区域を拡大するため事業変更認可申請に係る委託料を計上して、次年度以降の拡張整備を図るものであります。

下水道会計においても、し尿処理施設の老朽化により、今後汚水処理の一元化を図るため前処理設備を整備して下水道処理場での処理を行うため実施設計を行うものであります。

その他の各特別会計においても、経常的経費を含め住民のサービスを確実に実施するための歳入歳出予算を措置しております。

以上、平成24年度の町政運営に対する、私の基本的な姿

勢と会計予算案の主な内容であります。

の施政方針とさせていただきます。

おわりに

今日の社会経済情勢を含め、町の行財政を取り巻く環境は厳しい中ではありますが、議員や住民、そして町職員などの知恵と力を結集して「小さくても笑顔のあるまちづくり」を実現するため、全力で取り組む所存であります。議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。平成24年度

3月の町長の動向

- 1日 奥尻高等学校卒業証書授与式
- 2日 定例課長会議・空港保安委員会
- 4日 奥尻町武道大会
- 6日 第1回奥尻町議会定例会（～8日）
- 11日 いつまでも元気大会
- 14日 奥尻島森林資源活用促進会議
- 15日 各中学校卒業式・木質バイオマスフォーラム
- 16日 各小学校卒業式・平成23年度奥尻町地方港湾審議会
- 21日 第1回奥尻町議会臨時会・教職員送別会
- 23日 奥尻町町内会連合会総会
- 31日 高橋北海道知事来町

